

● 指導の実際

◎ 授業の実際

和樹の夏祭り

和樹の地区の夏祭り
← 住民の苦情 マナー違反
中止に
→ 残念 楽しみだった
和樹 腹が立つ

剛たちの様子
中学生も手伝い
小学生を世話
ゴミ分別 花火準備

和樹
「楽しんでいるから」
「こっちのセリフじゃ」
・ 忙しい
・ 大変なのに楽しんでる

◎「俺の祭りのこと」の授業
和樹はこう思ったが
なぜそう思えるか不思議
自分はただ参加していただけ
大人任せにしていた
剛は自分たちで動いて
祭りを楽しくしていた
なぜ自分は手伝いを
してこなかったのか
自分で祭りを支えないと
自分達の祭りといえない
※みんなにとっての祭りは？
文化祭 おいでん祭
節分草祭

生徒の反応

祭りで屋台を出して下さっている方達は一生懸命祭りを支えて下さっていることに感謝したいと思いました。
節分草祭りでは僕達も頑張りたいです。



節分草祭実行委員会の方からの温かいビデオレター

◎ 保護者・地域との連携の実際

道徳性を深める体験活動
地域の人材・財産を活用

自治振興区の仲立ちにより、中学校と地域の様々な団体と連携して多くの体験活動を実施した。地域教育コーディネーターの方には、地域と学校が一体となって体験活動を推進するうえで、中核的な働きをしていただいている。

道徳の時間での学びを体験活動に生かし、体験活動での学びを道徳の時間で考える。



地域教育コーディネーターの仲立ちにより実施した活動例

おもな学習・体験活動	連携した団体
地域包括ケアと地域福祉	総領診療所
紙すき体験	総領町紙すき研究会
プレイバックシアター	県立広島大学
とうろろ菓子づくり体験	稲草西自治会老人部
高齢者疑似体験	社会福祉協議会総領地域センター
節分草ガイド	節分草保存会
祭ブースの企画・運営	里山を楽しむ町イベント実行委員会



節分草ボランティアガイド



キッズコーナーを企画・運営



卒業証書の用紙を和紙で手作り

◎ 成果と課題

- 自治振興区の事業が地域・保護者と学校とを繋ぐ機能を果たし、地域の力が円滑に学校教育に活用されるようになった。
- 地域の方を身近に感じ、地域や保護者からの肯定的評価を受けることで、児童生徒の自己肯定感と道徳性が向上した。
- 総合単元的な道徳学習の充実に向け、教科や体験活動の関連を中学3年間のスパンで考えていく。
- 家庭や地域への感謝の気持ちを、態度や行動で表していけるように道徳性を高める。
- 地域とのつながりをさらに深めるために、児童生徒が地域行事等へ参画していく取組を広げていく。